

園だより 4月

あなたがたは 神に愛されている子どもです。

エフェソの信徒への手紙 章1節

ご入園・ご進級おめでとうございます。

世の中が新型コロナウイルス感染症の不安の中始まった、2020年度。園庭の桜は今年も花を満開に咲かせていました。去年、園児たちが植えたチューリップの球根、暖かなお日様に向かって咲き誇っています。目に見える風景は例年と何も変わりなく、新年度を迎える嬉しい季節となっています。

けれども、現実には目に見えないウィルスの不安と闘いながら、心穏やかに過ごせない日々を感じつつ、これから始める、始めたいと願っている新年度の計画を、全て延期・中止としております。

その様な中でしたが、幼稚園では3月後半頃より新しいクラス編成を行い、保育者たちは例年と変わりなく一人ひとりの子どもたちに思いを馳せ、その子に贈るマークを考え描きました。また、子どもたちの生活そのものである「豊かな遊び」が展開される環境の場としてそれぞれの部屋を整え、毎年と変わらない新年度の備えの日々を過ごしました。それに加え、緊急事態宣言前後には、様々に変更しなくてはならない行事と向き合う状況となりました。平穏な時には至極当たり前に考え行っていた園行事の一つひとつを、子どもたちとともに過ごすそのときが、例年と変わらない嬉しい豊かなときとなることを切に願いながら、改めて、話し合い確認し合い、柔軟に考え変更を致しました。もっと何か配慮出来ることがあるのでは・・・保育者たちの子どもたちへの思いは尽きません。大切にしたい保育について改めて深く思いを巡らす恵みのときが与えられました。

これからどのような状況の日々が展開されるのでしょうか。予測は出来ませんが、どのような日々でありましても、江東YMC A幼稚園での日々は、子どもたちが心安らかに過ごし、一人ひとりが伸びやかに心豊かに成長し、「いのち」を輝かす日々となることに想いを注ぎ、心を砕いてまいります。

異例な中での新学期のスタートですが、保護者の皆様の変わらないご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。一日も早く子どもたちと会える日を楽しみにしております。皆さま、くれぐれもご自愛ください。今年度も神様のゆるぎない御手に支えられつつ・・・。

園長 駿河 幸子